

法蔵館書店ニュース 2月

目次

話題の本	P1	特集1:「神仏習合」 ～神も仏も信仰する日本人の不思議～	P16～17
法蔵館新刊案内	P2～4	特集2:365日 大切に生きるヒントがもらえる本	P18
法蔵館重版案内	P4	お知らせ	P19
法蔵館刊行予定案内	P4～6	法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P20
法蔵館書店のおすすめ本	P7～15		

★お知らせ★2、3月の書店休業日

2月のお休み:2日・9日・16日・23日

3月のお休み:2日・9日・16日・23日・30日

話題の本

●毎日新聞[朝刊](2025/1/18)
●京都新聞[朝刊](2025/1/11)、●書標(2025/1/5)
『国際理解には宗教がほぼ半分
—外国ルーツの隣人を知るために』
三木 英著・四六判・256頁・2,420円
ISBN:978-4-8318-7783-3

●中外日報(2025/1/17)
『禅に学ぶ精神分析—無意識と絶対無』
西村則昭著・四六判・291頁・3,520円
ISBN:978-4-8318-8805-1

●名古屋御坊(2025/1/10)
『住職必携—真宗大谷派儀式作法』
大谷制以知著・A5判・224頁・2,860円
ISBN:978-4-8318-8785-6

●仏教タイムス(2025/1/1)
『絶望のトリセツ—人生の危機をのりきる方法』
根本一徹・川本佳苗著・四六判・168頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-2462-2

●洛タイ新報(2025/1/1)
『歎異抄を読む—今、念仏に生きる意味を問う』
田中好三著・四六判・166頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-8806-8

●文化時報(2025/1/1)
『悩んだら『歎異抄』—親子・家族関係の相談から
カウンセラーが見つけた光』
富田富士也著・四六判・153頁・2,090円
ISBN:978-4-8318-5655-5

平松令三遺稿論文集1
『親鸞の生涯と高田門徒の展開』
平松令三著・A5判・372頁・11,000円
ISBN:978-4-8318-8761-0

●部落解放 1月 864号(2024/12/24)
『高津正道の僧籍剥奪を問う』
高津正道の僧籍剥奪を問う会編・四六判・206頁
1,870円・ISBN:978-4-8318-5585-5

●南日本新聞(2024/12/14)
『あきらめる勇氣
—「見えなくなった」僕を助けてくれたのは』
松永信也著・A5判・128頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-5620-3

●中外日報(2024/12/1)
龍谷大学仏教文化研究叢書53
『解脱房貞慶の世界
—「観世音菩薩感應抄」を読み解く』
阿部泰郎・楠 淳證編・四六判・386頁・2,750円
ISBN:978-4-8318-6289-1

法蔵館文庫

◆教行信証の哲学

【宗教／哲学】

武内義範著、石田慶和・岩田文昭解説・文庫判・240頁・1,210円
ISBN:978-4-8318-2688-6

親鸞の主著『教行信証』を西洋哲学の知識を駆使して初めて哲学的に解説した記念碑的論考。親鸞思想を「哲学」として世に知らしめた名著。

■目次

改訂版のために
序

第一章 『教行信証』への通路

第二章 三願転入の問題

第三章 第十九願の解明 ほか

ためし読み



◆実学思想の系譜

【思想／日本史】

源 了圓著、大川 真解説・文庫判・368頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-2689-3

幕末志士らの行動の源泉ともなった実学思想の江戸中期から明治中期に及ぶ展開を辿り、維新遂行と迅速な近代化の遠因を追究する。

■目次

まえがき

日本における実学思想の展開と近代

和魂洋才への道

洋と西洋との出会い ほか

ためし読み



◆マヌ法典——ヒンドゥー教世界の原型

【宗教／思想】

渡瀬信之著・文庫判・251頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2690-9

インドの社会体制や人々の価値観に、今も影響を与えるヒンドゥー教世界の原型たる『マヌ法典』を、正確にわかりやすく紹介する。

■目次

まえがき

第一章 『マヌ法典』の世界観
——世界創造とヴァルナ体制

第二章 『マヌ法典』の人生観

第三章 行動の準則 ほか

ためし読み



◆荷澤神會研究

【中国仏教】

——神會の生涯・著作・思想とその史的意義

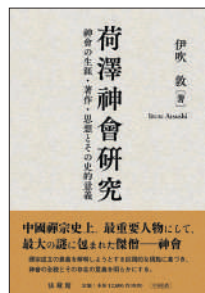
伊吹 敦著・A5判・624頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-7785-7

禅宗成立の意義を解明しようとする巨視的視座に基づき、荷澤神會の思想的営為の全貌と北宗批判の意味を解明せんとする革新的研究。

■目次 序

- 第I部 神會の生涯と著作
- 第II部 神會の思想形成
- 第III部 神會による祖統の改訂と慧能の「六祖」化
- 第IV部 神會出現の史的意義
- 結 論 ほか

ためし読み



法藏館重版案内

◆正信念仏物語

3刷 【仏教／真宗】

——親鸞聖人偈頌意識本

松下雅文訳・A5判・28頁・220円・ISBN:978-4-8318-9034-4

浄土真宗の門徒なら誰もが知っている正信偈。ではその内容は？ 正信偈の全文を、わかりやすい現代語で物語風に意識した小冊子。

正信偈の偈文と現代語訳を見開きで対照できるわかりやすい構成。漢字にはすべて振り仮名をふり、大きな文字で読みやすい。



法藏館刊行予定案内

〈2025年3月 刊行予定〉

◆谷口雅春とその時代

法藏館文庫

【宗教学／伝記】

小野泰博著、島蘭 進解説・文庫判・384頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2691-6

新宗教「生長の家」創始者・谷口雅春の前半生における思想遍歴を、同時代の人々や諸思想との関わりから鮮やかに描き出した評伝の傑作。

◆魏晉清談集——『世説新語』を中心として

法蔵館文庫

吉川忠夫著・文庫判・464頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2692-3

【中国古典】

三国志の英雄や竹林の七賢をはじめ、3～5世紀の人々の言葉と行動、そして時代のエピソードを警拔で機知に富んだ表現で活写する。

◆日本古代中世の社会と宗教

宮崎健司編・A5判・540頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-7791-8

【日本史】

古代中世の社会において仏教や神祇信仰等の宗教が果たした役割を多角的に論じ、社会と宗教という視点の重要性を問い直す。問題意識を同じくする研究者22名による論集。

◆ファッションと東アジアの近代

【服飾／近代史】

劉 建輝・西村真彦・森岡優紀編・A5判・320頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-5656-2

褌(ふんどし)、セーラー服、チョゴリ、旗袍(チーパオ)。華やかで個性豊かなファッションには国際交流の歴史が織り込まれている! 服飾で紐解く近代の東アジア。

◆大乘仏教がひらいた 妙好人の世界

菊藤明道著・A5判・400頁・予価4,950円・ISBN:978-4-8318-2356-4

【仏教】

妙好人を世界に知らしめた鈴木大拙をはじめ、楠恭、佐藤平氏などの妙好人研究の軌跡を辿(たど)り、その霊性的世界をうかがいつつ今日の意義について考察する。

◆文化財の誕生——寺宝の整理と継承の歴史的変遷

田中直子著・A5判・416頁・9,350円・ISBN:978-4-8318-6335-5

【日本史／美術史】

仏像等の寺宝は現代に至るまでにいかに認識され継承されてきたのか。近世と明治期の醍醐寺における管理や認識の変遷を背面墨書や行政文書をもとに明らかにする。

◆道宣と南山律学の形成——律宗がはじまるとき

戸次顕彰著・A5判・392頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-7786-4

【中国仏教】

鑑真が日本にもたらした戒律の淵源とは? 律宗の祖とされる道宣の諸著作を繙き、律学形成をめぐる実践仏教の展開を明らかにする。東アジアに受容されたその伝統を遡源する。

◆全編解説 浄土論註

——社会環境による苦悩解決への道

菱木政晴著・A5判・約670頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-8800-6

【真宗／浄土教】

近代教学とは異なる『浄土論註』理解によって専修念仏・往還二回向の根源的意義を明らかにし、現実社会における救いの姿を描き出す意欲作!

◆比婆荒神神楽の社会史——歴史のなかの神楽太夫

鈴木昴太著・A5判・460頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-6292-1

【歴史／民俗】

広島県庄原市に伝わる比婆荒神神楽。350年以上も継続されてきた「伝承の原動力」とは何か。近世から現代に至る社会状況の変化と宗教者の創意工夫の変遷過程を追う。

◆奈良・平安彫刻の文化史的研究

井上一稔著・A5判・824頁・24,200円・ISBN:978-4-8318-6334-8

【美術史／仏教】

奈良時代後半から平安時代初期にかけての仏像彫刻を、美術史的な位置づけを通して、それぞれの仏像が生み出された思想的・歴史的背景を明らかにする。図版330点余。

◆華嚴教学の形成と展開

櫻井 唯著・A5判・467頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-6399-7

【仏教】

敦煌文書や日本伝来の寺院資料の調査・研究に基づき華嚴教学が誕生した唐代初期の仏教史を見直すとともに、その思想的展開を追う。新たな視点から紐解く華嚴教学史。

◆史学の近代中国

——顧頡剛と胡適・傅斯年の思想と行動

竹元規人著・A5判・予704頁・11,000円・ISBN:978-4-8318-7787-1

【中国史／近代史】

近現代という状況下、長大な歴史をもつ中国の知識人は自国の歴史をいかに捉え直し、いかなる「中国」を歴史的に構想したのか。近代史学の展開に関する本邦初の本格的 연구書。

◆仏教・イスラーム・キリスト教

——祈りと思想の共鳴 龍谷大学仏教文化研究叢書

嵩 満也・佐野東生編・A5判・352頁・4,400円・ISBN:978-4-8318-7789-5

【宗教】

三大宗教が共鳴する思想の場は成り立ちうるのか。神秘主義を議論の枠組みに、念仏、ズィクル、イエスの祈り等の比較考察を試み、教義・実践に共通する思想をあぶり出す。

◆相模大山御師の「行動文化」と身分

佛教大学研究叢書

飯田隆夫著・A5判・約342頁・10,230円・ISBN:978-4-8318-6296-9

【日本史／民俗】

近世から近代初頭にかけて、山岳霊場相模大山の発展と繁栄を陰で支えた御師たちの実像を、知られざる資料・文献を駆使して構造的に描く。

法蔵館書店のおすすめ本

◆歎異抄に何を学ぶのか

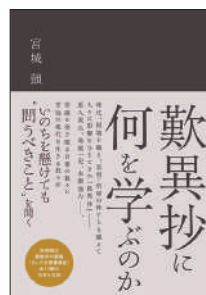
宮城 顕著・四六判・327頁・2,200円〈東本願寺出版〉

浄土真宗の宗祖 親鸞の亡きあと、門弟の耳の底に残り続けた金言の集成『歎異抄』。時代、国境を越え、思想・信仰の枠をも越えて、無数の人々に影響を与えてきたこの書に、苦悩の現代を生きる我々はいったい何を学ぶのか。

著者最晩年の講義をここに書籍化。

■目次

- 第一章 今の世にあって真宗とは
- 第二章 いのちを懸けて聞きたいことは
- 第三章 人の世にいのちの温もりあれ



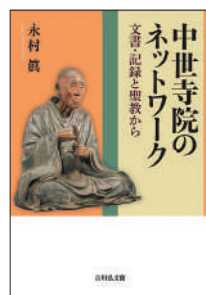
◆中世寺院のネットワーク——文書・記録と聖教から

永村 眞著・A5判・394頁・5,720円〈吉川弘文館〉

師から弟子への仏法伝授、寺院経営や財産管理にともなう教団形成、本山と末寺のまとまり、修学活動、源頼朝・足利尊氏・豊臣秀吉ら施政者による外護……。中世の寺院をとりまいて、さまざまなネットワークが存在した。人と人との交流、それらを組み込んだ組織間のつながりなどを描き、日本仏教を存続させ発展を支えてきた具体的な姿と役割に迫る。

■目次

- I 中世の寺院と寺僧
- II 密教の伝授と法流
- III 浄土宗の展開



◆近世・近代寺院蔵書の社会史

引野亨輔著・A5判・485頁・14,300円〈塙書房〉

第一部「江戸時代の商業出版と仏教教団・寺院・僧侶」と第二部「明治時代の出版技術革新と仏教教団・寺院・僧侶」の二部構成で、寺院蔵書からみた日本の出版文化と社会変容を多角的に考察する。

■目次

- 第一部 江戸時代の商業出版と仏教教団・寺院・僧侶
 - 第一章 商業出版成立の衝撃と仏教知のゆくえ
 - 第二章 江戸時代の地域寺院における蔵書形成とその機能
 - 第三章 経蔵のなかの「正統」と「異端」
 - 第四章 「読書」と「異端」の江戸時代
- 第二部 明治時代の出版技術革新と仏教教団・寺院・僧侶 ほか



◆お経から読み解く未来予言 仏教コード

三木大雲著・四六判・215頁・1,595円〈Gakken〉

本書では「禁断のお経」といわれた『法華経(ほけきょう)』をはじめ、さまざまなお経を三木大雲住職が解説し、独自の予測もまじえながらこれから先起こりうる出来事から、破滅を回避するために私たちができることを、やさしく解説します。

■目次

- 第一章 お経は人生の攻略本
- 第二章 お経に記された四つの時
- 第三章 お経に記された未来予言
- 第四章 禁じられたお経
- 第五章 破滅回避の唯一の法 ほか



◆仏教は科学なのか——私が仏教徒ではない理由

エヴァン・トンプソン著、藤田一照・下西風澄・監修・訳、護山真也訳
四六判・309頁・2,970円〈Evolving〉

意識の哲学、認知科学の哲学を牽引する哲学者エヴァン・トンプソンの待望の初邦訳。現象学、認知科学、仏教哲学を横断しながら、仏教の教義を再検討し、現代世界の仏教哲学を提案することで東洋と西洋を超える思想を探求する一冊。

■目次

日本語版序文

- 第一章 仏教例外主義の神話 The Myth of Buddhist Exceptionalism
- 第二章 仏教は真実なのか? Is Buddhism True?
- 第三章 仏教は無我説か?—急ぐべからず No Self? Not So Fast
- 第四章 マインドフルネスへの熱狂 Mindfulness Mania ほか



◆仏教ゆかりの生きもの図鑑

福田 琢:文、大島加奈子:絵・B5変判・75頁・1,210円〈東本願寺出版〉

今からおよそ2500年前、インドで誕生した釈尊(お釈迦さま)が説かれた教えがまとめられた仏典には、様々な生きものが登場します。“生きもの”を通して物語られてきた、仏教の心とは? 精緻に描かれた“生きもの”の絵とともにたずねます。東本願寺の境内各所で見られる、彫刻や瓦などに象られた仏教ゆかりの生きものたちも紹介しています。

■目次

- | | | |
|------------|---------|----|
| 仏教ゆかりの生きもの | 兔一施しの心 | |
| 牛一最上の友 | 鹿一生命の尊厳 | |
| 獅子一真実の力 | 猿一人の心 | |
| 亀一凡夫の仲間 | 象一釈尊の面影 | ほか |



◆「お迎え」の思想——極楽浄土への行き方

ひろさちや著・四六判・222頁・2,200円〈佼成出版社〉

本書では、お迎えの信仰の起源から衰退した経緯、他宗教との死後の世界の違いを考察していく。「お迎え」を説明するには切っても切り離せない、「死」という重たいテーマをも調和させる著者ならではのユーモアを交えた文章が特徴的。極楽浄土への行き方を、「仏さまが出迎えてくださる」という視点で解説する浄土教入門書。

■目次

- 第一章「考えるな!」
- 第二章 浄土の誕生
- 第三章 浄土の存在意義
- 第四章 極楽浄土の本
- 第五章 浄土への行きかた



◆慈雲尊者 人となる道——現代語訳と注解

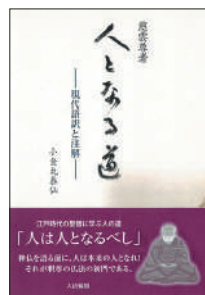
小金丸泰仙著・四六判・222頁・2,200円〈大法輪閣〉

「人は人となるべし」神仏を語る前に、人は本来の人となれ!それが釈尊の仏法の初門である。

江戸時代の聖僧に学ぶ人の道とは? 慈雲尊者の主著『十善法語』の真髓を、釈尊の教えとして最古の經典といわれる『スッタニパータ』と照らし合わせながら読み解く!!

■目次

- | | | |
|--------|--------|----|
| 第一 不殺生 | 第五 不綺語 | |
| 第二 不偷盗 | 第六 不惡口 | |
| 第三 不邪淫 | 第七 不両舌 | |
| 第四 不妄語 | 第八 不貪欲 | ほか |



ちくま学芸文庫オ42-1

◆踊念仏

大橋俊雄著・文庫判・359頁・1,540円〈筑摩書房〉

一遍・法然研究の第一人者であった著者が、踊念仏という活動にスポットを当てることで、古代における踊りの意味から掘りおこし、空也・一遍ほかの聖たちと踊念仏の盛興、他宗派からの批判、念仏踊や阿国歌舞伎など芸能に与えた影響、さらに後世の各地に継承された習俗にまで、幅広く目を配る。

■目次

- 第一章 踊念仏の発生
 - 第二章 踊念仏の展開
 - 第三章 踊念仏の継承と盛行
 - 第四章 踊躍的念仏の変容と実態
- ほか



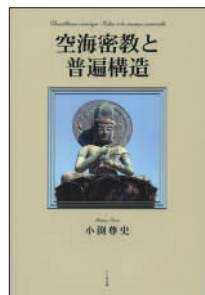
◆空海密教と普遍構造

小淵尊史著・菊判・512頁・10,560円〈ノンブル社〉

自心の鏡中に於て真言の大我を觀ずー『梵網經開題』虚空法界に奏でられる空海密教の真髓を照射！そこに眼をこらせば聴こえてくる人類普遍の調べ仏教經典群のみならず古今東西の諸文献を渉猟し弘法大師空海の密なる世界を開顕した一書。

■目次

- 第一章 普遍的根源者—空海と大日如來—
- 第二章 円とマンダラの普遍構造
- 第三章 重重帝網なる即身の宇宙
- 第四章 神秘主義における一者合一の系譜—空海の即身成仏思想との関わりにおいて—
- 第五章 空海密教と象徴原理 ほか



◆改訂新版 密教の話——曼荼羅の世界

金岡秀友著・四六判・231頁・1,980円〈佼成出版社〉

正しい「密教」理解のための絶好の概説書の改訂新版。深い内容を噛み砕きながら格調高いリズム感で書き綴られる。インドにその源を発し、中国そして日本で花開いた深遠な仏教世界を、弘法大師空海や曼荼羅の話を中心に説く。

■目次

- 一章 密教の誕生
- 二章 密教の発展
- 三章 空海の世界
- 四章 日本密教の哲学
- 五章 密教と現代



◆運慶と鎌倉

神奈川県立金沢文庫・横須賀美術館編・B5判・122頁・2,420円〈吉川弘文館〉

鎌倉幕府と深い関わりをもち、東国での活動を展開した大仏師運慶。かれは武家の求めに応じて多くの仏像を製作したが、その中には幕府の有力な女性たちも含まれていた。武士の信心、女性の祈りを軸に運慶の活動を捉え直し、武家の都・鎌倉周辺に残された重要作品から足跡を辿る。運慶とその工房作の仏像・関連作品を多数収録した特別展の解説図録。

■目次

- 第1章 運慶—女人の作善と鎌倉幕府—
- 第2章 運慶と三浦一族の信仰
- 第3章 鎌倉の伝運慶仏



講談社学術文庫2844

◆哲学宗教日記——1930-1932／1936-1937

ルートヴィッヒ・ウィトゲンシュタイン著、鬼界彰夫訳・文庫判・396頁・1,606円〈講談社〉

真の信仰を希求する魂の記録！ 死後42年たって新発見された幻の日記。『論考』から『探究』へ——大哲学者が書き残した、自らの思考の大転換、宗教的体験、そして苛烈な内面の劇！

■目次

第一部 一九三〇—一九三二

第二部 一九三六—一九三七

コメンタール

コメンタールで使用された参考文献と略号

人名索引 ほか



シルクロード研究論集②

◆仏教東漸の道 西域・中国・極東篇

東洋哲学研究所編・A5判・511頁・4,500円〈東洋哲学研究所〉

東洋の精神遺産である仏教がいにしえの人々によっていかに伝承、受容されてきたのか。仏教東漸の道を歴史学、文献学、美術史、仏教学、建築学、考古学の見地から各地の宗教事情や諸民族の文化的背景を踏まえて考察した論文集。「シルクロード遺跡地図」付。

■目次

第Ⅲ部 西域篇

第Ⅳ部 中国篇

第Ⅴ部 極東



◆大念処経

——ヴィパッサナー瞑想の全貌を解き明かす最重要経典を読む

アルボムツレ・スmanaサーラ 著・A5判・414頁・4,950円〈サンガ新社〉

ブッダが説いた気づきの実践方法を、パーリ語経典に基づいて詳細に解説。マインドフルネスの原点でもある仏教瞑想を、心の清浄に達するためのたった一つの道として現代人が真に理解するために欠かすことのできない一冊。

■目次

総説（大念処経とはどんな経典か；身体の動きに気づく ほか）

I 身の随観（出息・入息の部；威儀の部 ほか）

II 受の随観（苦・楽・非苦非楽を観る；感覚の観察はなぜ大事なのか？）

III 心の随観（心はつかみにくい）

IV 法の随観（蓋の部；五蘊の観察（蘊の部） ほか）



◆神仏融合史の研究

吉田一彦著・A5判・427頁・6,930円〈名古屋大学出版会〉

アジア各地に見られる神仏の〈融合〉は、日本はどのように導入・発展・定着し、その過程でいかなる独自性を獲得したのか。神宮寺建立とそれを支えた思想から、山岳信仰や鬼神観念、本地垂迹説の成立まで、仏法と神信仰の重層的な融合過程を検討。日本の宗教を世界史的視座から再考する。

■目次

序 章 神仏融合史研究序説

第一部 総論

第Ⅰ章 日本における神仏融合の成立と展開

第Ⅱ章 神仏習合学説形成史の批判的考察

第二部 各論 ほか



◆現代「ますように」考——こわくてかわいい日本の民間信仰

井上真史著・四六判・223頁・1,650円〈淡交社〉

不思議な民間信仰はまだ日本に生きている——その信念のもと、各地に生存する、生活や習俗と密着したこわくてかわいらしい願いや信心を探し歩き、民俗学や怪談研究を活かした著者独自の視点で紹介します。

■目次

第一章 突撃、となりの願い事

第二章 オレたちもこの祭がわからない

断章 逆襲のアマビエ 病が流行れば呪術も流行る

第三章 あの世のぞき見紀行

第四章 願いと呪い物語と「ますように」 ほか



◆「謎」で巡る神社の歩き方

——神社創建の歴史——鹿島・香取・春日・伊勢・祇園・氷川を中心に

島田裕巳著・四六判・255頁・1,980円〈啓文社書房〉

神社の様々な「謎」について、実際に著者が歩いてみた神社を中心に、改めて解説してみようという試みです。「謎」というテーマを持って接することで、より神社を理解することの一助にいただければ光栄です。

■目次

第一章 謎が謎を呼ぶ神社創建の歴史

第二章 「祭神」とは何か

第三章 春日大社の「鹿」の発祥は鹿島神宮？

第四章 春日大社と藤原氏の謎の関係

第五章 伊勢神宮・内宮磐座の謎 ほか



ちくま学芸文庫 ヤ-9-2

◆禅の時代——栄西・夢窓・大灯・白隠

柳田聖山著・文庫判・336頁・1,430円〈筑摩書房〉

中国禅研究の第一人者であった著者が、純粹に「日本の仏教」とよべる信仰が生まれるまでを、とりわけ日本臨済禅の系譜に沿って辿り、平明な筆致でその本質を追究した一冊。

■目次

- 第一章 興禅護国論〔栄西〕
- 第二章 夢中問答〔夢窓〕
- 第三章 龍宝語録〔大灯〕
- 第四章 遠羅天釜〔白隠〕 ほか



わが家の宗教を知る

◆【新版】うちのお寺は天台宗

小松事務所編著・藤井正雄総監修・A5判・212頁・1,980円〈双葉社〉

シリーズ累計100万部突破のロングセラーの令和版。「天台宗早わかり」、開祖はこんな人「伝教大師最澄」經典・著書にみる教義「天台宗の教え」、宗門史に名を残す「天台宗の名僧たち」、ぜひ訪ねたい「天台宗ゆかりのお寺」、知っておきたい仏事作法・行事など時代を超えて受け継がれる、一家に一冊あると便利な完全保存版。

■目次

- 第1章 ここを見ればすべてわかる「天台宗早わかり」
- 第2章 開祖はこんな人「伝教大師最澄」
- 第3章 經典・著作にみる「天台宗の教え」
- 第4章 宗門史に名を残す「天台宗の名僧たち」 ほか



わが家の宗教を知る

◆【新版】うちのお寺は浄土宗

小松事務所編著・藤井正雄総監修・A5判・212頁・1,980円〈双葉社〉

シリーズ累計100万部突破のロングセラーの令和版。「浄土宗早わかり」、開祖はこんな人「法然上人」經典・著書にみる教義「浄土宗の教え」、宗門史に名を残す「浄土宗の名僧たち」、ぜひ訪ねたい「浄土宗ゆかりのお寺」、知っておきたい仏事作法・行事など、時代を超えて受け継がれる、一家に一冊あると便利な完全保存版。

■目次

- 第1章 ここを見ればすべてわかる「浄土宗早わかり」
- 第2章 開祖はこんな人「法然上人」
- 第3章 經典・著書にみる教義「浄土宗の教え」
- 第4章 宗門史に名を残す「浄土宗の名僧たち」 ほか



◆改訂新版 異神——中世日本の秘教的世界

I ——新羅明神・摩多羅神編

II ——宇賀弁才天・牛頭天王編

山本ひろ子著・四六判・① 405頁、② 419頁・各3,850円〈戎光祥出版〉

神か仏か——。御神格、像容、秘儀、祭礼など、摩訶不思議な世界にうごめく異形の神仏の謎に迫る。大きめ活字と多くのふりがなで読みやすさを追求。註釈や資料、詳細な索引も収録した決定版！ 少数の限定出版！

■目次

〔異神 I〕第一章 異神と王権——頼豪説話をめぐって
第二章 摩多羅神の姿態変換——修行・芸能・秘儀 ほか

〔異神 II〕第一章 宇賀神——異貌の弁才天女
第二章 行疫神・牛頭天王——祭文と送却儀礼をめぐって ほか



◆くずし字がわかる あべのせいめい歌占

——三十一文字で知る神さまのお告げ

平野多恵著・A5判・166頁・1,980円〈柏書房〉

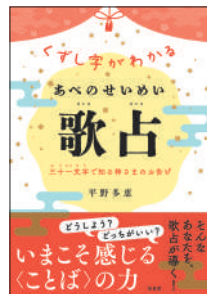
おみくじに書かれた和歌は神さまのお告げです。本書は原文のくずし字も掲載し、字母と翻刻を、そして現代語訳を付しています。くずし字をじっくり読み解いていけば、より一層、和歌に込められた文字の力を味わうことになります。

■目次

歌占って何？(歌占Q&A;この本での歌占の方法;「歌占のお告げ」の見方;占いの結果ページの見方)

占いの結果を見てみよう! (『せいめい うた占』序)

歌占お悩み相談室(歌占の結果をどう読み解いたらいい?)



◆今日は何の日? まるこの日めくり仏教小咄

露の団姫著・四六判・390頁・2,420円〈春秋社〉

テレビでも活躍する落語家兼天台宗尼僧のまるこさんが語る、その日が何の記念日であるかをもとに主に仏教に絡めたクスリとくる小咄366日分(うるう日を含む)。日めくり1日1小咄で仏教をはじめとする宗教や文化の豆知識が楽しく学べる一冊。

■目次

一月	四日【石の日】	八日【勝負事の日】	
一日【お正月】	五日【囲碁の日】	九日【とんちの日】	
二日【初夢の日】	六日【枕の日】	十日【十日えびす】	
三日【ひとみの日】	七日【七草の日】	十一日【塩の日】	ほか



◆葬儀屋のソウギさん

桜 プリン著・A5判・156頁・1,375円〈KADOKAWA〉

死者が生きた証と残された人の想いが込められた美しい棺で依頼人をそして死者をも救うある葬儀屋での物語。

■目次

1話	人魚葬	4話	花葬
2話	婚葬	5話	人形葬
3話	星葬	6話	歌葬
3.5話	孤独葬／いい双子の日	7話	かぐや葬 ほか



◆2024年度版 全国のあいつぐ差別事件

部落解放・人権研究所編・A5判・232頁・2,200円〈解放出版社〉

毎年度、被差別部落に関わる差別事件を集約している本書最新版。2023年度（2023年4月～2024年3月）の一年間に発生、発覚した事例について、「解放新聞」中央版・各地版などから分野別に紹介、解説。人権・部落問題学習・啓発に必携の一冊。

■目次

2023年度に発覚した部落差別事件の概要と分析
インターネット上の部落差別—2023年度の現状と課題
真相糾明から糾弾闘争、そして大阪市人権行政の抜本的改革を求めて
—大阪港湾局の部落差別発言事件をふりかえる—
最近の戸籍不正取得事件と解放運動の課題 ほか



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 2月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎巻頭インタビュー いちむら みさこ
(ホームレスグループ・ノラ)
わたしに帰るために家を出た、解放感がありました。
- ◎特別企画 記憶——記すこと、憶うこと
- ◎連載
- 哲学者と僧侶
「私」をめぐる往復書簡／谷川嘉浩×中山善雄
- 生きづらいこの世界でも／竹田ダニエル ほか

◆大乘 2月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・DAIJO法話「仏の語りかけ一名号」……川添泰信
- ・ご機言！お寺の掲示板……江田智昭
- ・結婚してお坊さんになりました
「怒りから喜びへ」……前田純代
- ・なるほど仏教ライフ「言葉で認知する」……西原祐治
- ・御文章をいただく……満井秀城 ほか

特集1

「神仏習合」 ～神も仏も信仰する日本人の不思議～

お宮参りは神社で、お葬式はお寺で。はたまた、教会でクリスマスを祝ったかと思えば大晦日はお寺で除夜の鐘を働き翌日は神社へ初詣。

みなさんも心当たりありませんか? 「神仏習合」とはどういうことなのでしょう?

◆【図解】はじめての神道と仏教

渋谷申博著・四六判・A5判・127頁・770円(ワン・パブリッシング)

6世紀に仏教が伝来して以降、神道と仏教は互いに影響を与え合いながら発展し、競い合いながら日本文化の豊かさを作ってきました。神社とお寺、現代にも続く行事や儀礼まで、テーマごとに違いや共通点をやさしく解説。



◆日本の神社と「神道」

法蔵館文庫

井上寛司著・文庫判・491頁・1,650円(法蔵館)ISBN:978-4-8318-2664-0

古代から近現代に至る歴史過程を通じて、「神道」とはいかにして存在し機能したのか。それは各々の時代における神社・神社祭祀や神祇信仰の在り方とどのように関わっていたのか等、トータルなかたちで明らかにした画期的論考。

◆本地垂迹 【ちくま学芸文庫】

村山修一編・四六判・文庫判・464頁・1,760円(筑摩書房)

日本古来の神と大陸伝来の仏、両方の信仰を融合する神仏習合理論。前近代の宗教史的中核に位置し、日本文化の基盤へと広く深く根を張る世界観を総合的に読み解いた名著。



◆宗教民俗学 法蔵館文庫

高取正男著、柴田 實・村上紀夫解説・文庫判・384頁・1,540円(法蔵館) ISBN:978-4-8318-2653-4

民俗学の見地から日本宗教史へとアプローチし、日本的信仰の淵源をたずねる。高取正男の真骨頂ともいべき民間信仰史に関する論考を12篇を精選。

◆中世神道入門——カミとホトケの織りなす世界

伊藤 聡・門屋 温・新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也編
A5判・378頁・4,180円(勉強出版)

日本古来の信仰でありながらも、時代とともにめまぐるしい変化を遂げてきた「神道」。中世日本では、仏教と神道の融合現象—「神仏習合」が極めて発展的な展開をみせ、両部神道・伊勢神道・吉田神道など、さまざまな神道の流派が生まれた。第一線で活躍する研究者が、多数の図版とともにわかりやすく解説する決定版。



◆神仏と儀礼の中世

船田淳一著・A5判・535頁・8,250円(法蔵館)ISBN:978-4-8318-6029-3

中世寺社における各種の仏教儀礼を手がかりに、仏と神が中世的な信仰形態をいかにして獲得していくかを、思想運動のひとつとして多面的に論じ、神仏習合の具体的な諸相を明らかにする。



◆神仏融合史の研究

吉田一彦著・A5判・427頁・6,930円(名古屋大学出版会)

アジア各地に見られる神仏の「融合」は、日本ではどのように導入・発展・定着し、その過程でいかなる独自性を獲得したのか。神宮寺建立とそれを支えた思想から、山岳信仰や鬼神観念、本地垂迹説の成立まで、仏法と神信仰の重層的な融合過程をつぶさに検討。日本の宗教を世界史的視座から再考する。 ※詳しくは12ページ



◆廃仏毀釈——寺院・仏像破壊の真実【ちくま新書1581】

畑中章宏著・新書判・222頁・880円(筑摩書房)

明治政府の神道国教化により起こった廃仏毀釈。それは、日本で長く共存していた神道と仏教を分離し、仏教を排斥する運動だった。この出来事は寺院や仏像の破壊など民衆の熱狂による蛮行というイメージが流布しているが、実際にはどんなものだったのか？ 信仰の対象であったものを破壊するのに、人々にためらいはなかったのか？ 神仏が共存していた時代から説き起こし、各地の記録から丁寧にこの出来事の実際を読みとく。



特集2 大切に生きる ヒントがもらえる本

365日

新年明けて、もうひと月が過ぎてしまいました。一年はあれよあれよという間に過ぎていきます。気がつけば2026年！なんてことがないように一日一日ちゃんと向き合って大切に過ごせたら良いですね。そんなヒントがもらえるかもしれませんよ。

◆一日一分 ブッダの教え 365

アルボムッレ・スmanaサーラ著・B6判・276頁・2,200円

明るく毎日を生きるための仏教のエッセンス。アルボムッレ・スmanaサーラ長老の著書や法話から厳選した365話を「一話一分」で読める文章量でまとめました。日々の生活の中で気軽に読めるハンディな一冊です。
〈サンガ新社〉



◆空海のことば365日

——一日一語で人生の不安が消え去る

保坂 隆著・新書判・383頁・1,980円

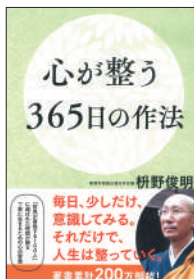
空海の、慈愛に満ちたことば、遊び心あふれることば、日々の不安が消え去るような優しいことばに焦点を当て、一日一語、365日に分けて紹介します。老いや死、将来や人間関係への不安などに、空海が応えます。
〈誠文堂新光社〉

◆今日は何の日？ まるこの日めくり仏教小咄

露の団姫著・四六判・390頁・2,420円

※詳しくは14ページ

落語家兼天台宗尼僧のまるこさんが語る、その日が何の記念日であるかをもとにして主に仏教に絡めたクスリとくる小咄366日分（うるう日を含む）。日めくり1日1小咄で仏教をはじめとする宗教や文化の豆知識が楽しく学べる一冊。
〈春秋社〉



◆心が整う365日の作法

栞野俊明著・四六判・218頁・1,650円

今日を、今を、大切に生きる。不安を抱き、悩みを抱えて生きるのではなく、希望を抱き、今日できることを心こめて生きる。そうすることで、日常が整い、人生が整っていく。ちょっと心を意識するだけで、日常は自然と変わるもの。1日1善を無理なく実践できて、その積み重ねでいつの間にか心が整っていきます。
〈廣済堂出版〉

お知らせ

2月は♡愛♡

2月14日は「バレンタインデー」。2月22日は「世界友情の日」。2月27日は「絆の日」。愛には様々なカタチがあります。一年で一番寒い時期ですが愛に満ち溢れた豊かな暮らしで心から温まりましょう♡

愛し愛されて 生きるための法話

川村妙慶著・A5判・94頁・1,100円
ISBN: 978-4-8318-8723-8

〈在庫僅少〉

「親子の愛」「男女の愛」「人間関係の愛」「仏さまの愛」など、様々な愛について、京都の人気の女性僧侶が語る。豊かな人生を送るために読んでおきたい短編法話集。

〈法蔵館〉



菩薩は女性を 愛せるか

大竹 晋著・四六判・281頁・3,080円

「菩薩と恋愛」！ 欲の制御を保ちながら、同時に女性の救済を行うことは可能であると説かれているのか？ 在家の場合と出家の場合に分けながら、解説する。

〈春秋社〉



仏さまに愛され、幸せに 生きる35の習慣

——35年で5000人を幸せにしてきたお坊さんが伝える
松永慈弘著・四六判・199頁・1,870円

今日から幸せな毎日を送ってみませんか！ 今、幸せになりましょう。毎日ありがとうを10回言いましょう。すべては必要・必然・最善です。執着は不幸のもとです。大事にすると大事にされます。

〈セルバ出版〉



法蔵館文庫

老年の豊かさについて

キケロ著、八木誠一・八木綾子訳・文庫判
208頁・880円・ISBN: 978-4-8318-2603-9

年を取ることに對する悲觀の通念を吹き飛ばし、老年の幸福を実例をあげて論証する、二〇〇〇年読みつがれてきた老年のための幸福論。

〈法蔵館〉



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(1月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
2	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
3	生きることを教える仏教	田畑正久	本願寺出版社	1,760円
4	仏教ゆかりの生きもの図鑑	福田 琢:文 大島加奈子:絵	東本願寺出版	1,210円
5	煩惱百八面相	梶 哲也著 今村風子:絵	東本願寺出版	770円
6	法城を護る人々 中 【法藏館文庫】	松岡 譲著 真継伸彦・大澤絢子解説	法藏館	2,200円
7	宗祖 親鸞聖人 御絵伝—真宗佛光寺派の伝承で見る	真宗佛光寺派御伝絵・ 御伝文研究会編	真宗佛光寺派御伝絵・ 御伝文研究会	330円
8	法城を護る人々 下 【法藏館文庫】	松岡 譲著 半藤未利子解説	法藏館	2,200円
9	仏教について 【法藏館文庫】	西谷啓治著 氣多雅子解説	法藏館	1,320円
10	法城を護る人々 上 【法藏館文庫】	松岡 譲著 野尻はるひ解説	法藏館	2,200円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

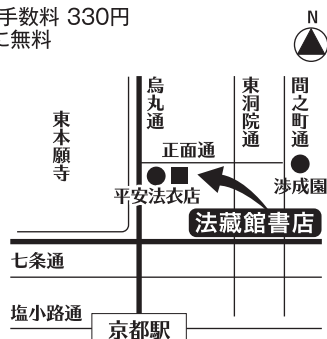
◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会 検索

法藏館書店 友の会 会員証



法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



〔営業日および営業時間〕

月～土: 9:30～18:00
祝 日: 10:30～18:00
(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!